

「コラッセふくしま」のオープンに当たって。

福島県知事
佐藤 栄佐久



県内中小企業を総合的に育成・支援する拠点として、また、観光物産情報や各種行政サービス機能をも兼ね備えた「コラッセふくしま」が、7月25日福島駅西口にグランドオープンいたしました。この施設には、県内の主要な商工団体とともに、県と地元福島市の関係機関等が入居し、産業の振興等に加え、賑わいを創出する新しいふくしまの拠点施設としての役割が期待されます。

県では、21世紀の本県商工業の進むべき方向を展望した「福島県商工業振興基本計画 つくしま産業プラン21」に掲げる「創造的な事業活動の促進と新しい産業の創出」など4つの施策体系に沿った事業展開を図っておりますが、これらの施策を推進する上で、「コラッセふくしま」内の中小企業支援機能は、極めて重要な役割を果たすものであると考えております。中でも、2階に開設しました「経営支援プラザ」は、中小企業の方々が抱える様々な課題に対応するための総合相談窓口と専門の相談スタッフを配置し、関係支援機関との連携と協力の下で課題解決に当たるなど、中小企業の経営基盤強化等に向けた支援を行ってまいります。

また、6階には、インキュベートルーム（起業支援室）を設置し、ソフト系IT分野を主な対象に創業や新事業への進出を目指す方々に対して、経営者として自立できるまで一貫したサポートを行い、地域に定着する企業を育

成します。

さらに、1階にリニューアルオープンしました「観光物産館」では、従来からの県産品の展示、販売に加えて販路拡大などを担う新たな拠点として、県産品ブランドの定着や物産情報機能の強化を図ります。このほか、施設内には360人収容の多目的ホールをはじめ、各種会議室、研修室を整備して、中小企業の皆さんが行う人材育成や情報化、企業間交流などの経営資源の充実、確保に向けた取り組みを支援することとしております。

「コラッセふくしま」においては、「つうした各機能のより一層の強化を図るため、入居する各支援機関が連携を図りながら県内中小企業の支援を行うこととしておりますので、多くの方々のご利用を期待いたしているところであります。

そして、「コラッセふくしま」には、バスポートセンターや福島市の行政サービスコーナー、図書館等の行政サービス部門も設けられており、駅に隣接しているという立地条件にも恵まれていることから、多くの人々が訪れる賑わいの拠点としても活用していきたいと考えております。「コラッセふくしま」が中小企業の方々をはじめ県民の皆様にとって夢のある施設として大いにご利用いただけるよう努めてまいりますと考えておりますので、今後とも皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。